

吾北中学校

開かれた学校づくり推進委員会の報告

6月19日に今年度の第1回目となる開かれた学校づくり推進委員会を、追手前吾北分校と合同で実施しました。会には、吾北中学校と吾北分校の生徒会や先生方、両校の保護者の方、地域の民生委員さんたちが参加しました。私たちは、そこでパワーポイントを使って次のことを説明し、提案をしました。



1. 吾北中学校・吾北分校が抱える大問題

高知県の高校再編 第2次計画(2008-2010年度)は、「2008年度(吾北中3年26名受験時)の分校入学者と2009年度(吾北中2年28名受験時)の分校入学者が20名に足りない場合、2010年度(吾北中1年20名受験時)から、吾北分校は新入生を募集できなくなる。」となっています。

この高知県の高校再編第2次計画は仮にクリアーしても、

2011年度以降どんな計画が出てくるかわかりません。分校がなくなれば、吾北に生まれ育った子どもたちの中に高校を諦める人が出てくるのは間違いないことです。生まれ育った場所によって高校へ行けないということは、絶対、間違っています。私たちみんなが、知恵と力を出し合い、できることをそれぞれが行動していく必要があると思います。

2. 分校を存続させるためにも日本一の山の中学校と高校をつくり、アピールしていく

- (1) 吾北中学校、吾北分校は、生徒会を中心に「日本一の山の学校」を目指す。
- (2) 吾北の学校の素晴らしさや私たち生徒の活躍を、町の広報や新聞を通じてアピールする。今年度も吾北中生徒会執行部は分校の文化祭に参加し、それを記事として投稿する。
- (3) 吾北中生徒会は、子ども議会や吾川郡中学校生徒会交流会で、分校の素晴らしさやセールスポイントをアピールする。
- (4) 吾北分校は、テレビ局で文化祭の宣伝を発表してはどうでしょうか？

このような私たちの発表に対して、参加者の皆さんからは「素晴らしい発表です。」と褒めていただき、自信もつきました。

吾北分校は、本当に素晴らしい自慢の学校です。町民の皆さん、生まれ育った場所によって高校教育を諦めるということが絶対起こらないように、支援をよろしくお願いします。

川内小学校

開かれた学校づくり(学社融合)推進事業

目標『学校・家庭・地域が連携して、心豊かでたくましい子どもを育成する』

第1回推進委員会は5月10日に行われ、本年度の事業計画が話し合われました。その中で米作り、川遊び、あいさつ看板作り、収穫祭、もちつき・門松作り、昔遊び交流など、次々に楽しい事業が予定されました。

<6月9日 田植え>

当日は、指導してくださる地域の人たち・子どもたち・保護者・教員が参加して行いました。植え方を教わった後、高知小学校の子どもたちと一緒に横一列に並んで順序良く植えていきました。みんな、汗を流しながら一生懸命植えていました。

今年は苗植えの間に、どろんこ遊びもしました。みんなで稲藁を旗にみたてたビーチフラッグやどろんこ合戦をしました。とても楽しかったです。

このうるち米は10月の収穫祭で、もち米は12月のもちつき大会で使います。

今年も豊作でありますように！

